

新除草・調節剤

ラッソー乳剤

アラクロール除草剤

(取扱メーカー) 三菱モンサント化成株式会社
日本農薬株式会社
日産化学工業株式会社

対象作物：トマト・落花生・大豆・トウモロコシ，（カンラン・ハクサイ・ハウレンソウ・ダイコンについては昭和43年度に実用化）。

性状・作用特性：本剤は有効成分として，2クロール-2'-6'-ジエチル-N-(メトキシメチル)アセトアリニドを43%を含む乳剤で，雑草の発芽前に処理する土壌処理型除草剤である。

本剤の作用特性は，一年生のイネ科雑草およびカヤツリグサに対し特に効果があり，スベリヒユなどにも効果が高い。

毒性：人畜に対する毒性は，通常の使用方法では問題がなく，魚毒性も一時に広範囲に使用する場合を除いては，特に注意する必要がない。

使用方法：露地トマトに対しては10a当たり100～150cc，トンネル・ハウスマルチでは定植前後マルチ前に株間土壌処理で10a当たり100～200ccを散布する。落花生，大豆，トウモロコシに対しては，播種後に10a当たり150～200ccを全面土壌に散布する。

使用上の注意：雑草の発芽前に処理すること。発芽または発芽直後のキュウリ・ネギに対しては薬害のおそれがあるので，十分に注意する。

RH-315T除草剤

(取扱メーカー) 三洋貿易株式会社
対象作物：ダイコン・カンラン・ハクサイ

性状・作用特性：本剤の有効成分は，2,4-ジクロルフェニル-4-ニトロフェニルエーテル(NIP)30.3%とN-(1,1-ジメチルプロピニル-3,5-ジクロロベンズアミド(RH-315))15.0%で，水和剤である。

本剤は，そ菜類の除草剤として使用されているNIPに，移行型の新除草剤でイネ科雑草を始め広範囲の雑草に卓効あるRH-315を加え，NIPの十字花科そさい類に対する安全性を損うことなく，両剤の混合によりイネ科，広葉の雑草に相乗効果を発揮させるとともに，NIP単用では効果の劣るナデシコ科雑草等に対しても殺草効果がある。

毒性：人畜に対する急性経口毒性はNIPがLD₅₀=3,580mg/Kg(ラット)，RH-315がLD₅₀=8,350mg/Kg(マウス)である。魚毒性はTLM(48時間)=34PPmであり，RH-315については目下試験中である。

使用方法：ダイコン・ハクサイでは，播種覆土当日，カンランの移植栽培では移植後4～7日に300～500gを100ℓの水で稀釈し，全面土壌処理する。

使用上の注意：砂質の土壌では使用をさけること。